

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺市立総合医療センター	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名					
病院名		大阪府立病院機構			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	

貸借対照表				(千円)
区分			決算額	
資産合計			-	
1 固定資産			-	
(1) 有形固定資産			-	
(2) 無形固定資産			-	
(3) 投資その他の資産			-	
2 流動資産			-	
(1) 現金及び預金			-	
(2) 未収金及び未収収益			-	
(3) 貸倒引当金()			-	
(4) 貯蔵品			-	
3 繰延資産			-	
負債合計			-	
1 固定負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
2 流動負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
(7) 一時借入金			-	
(8) 未払金及び未払費用			-	
(9) 前受金及び前受収益			-	
3 繰延収益			-	
(1) 長期前受金			-	
(2) 長期前受金収益化累計額()			-	
(3) 繰延運営権対価			-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()			-	
(5) 運営権者更新投資			-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()			-	
資本合計			-	
1 資本金			-	
2 剰余金			-	
(1) 資本剰余金			-	
(2) 利益剰余金			-	
負債・資本合計			-	
不良債務			-	
実質資金不足額			-	
資本不足額()			-	
資本不足額(繰延収益控除後)()			-	
備考				

設立団体の状況		
人口(人)	8,837,685	
決算規模(千円)	3,325,569,052	
標準財政規模(千円)	1,707,056,365	
財政力指数	0.73179	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	118.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	6,650				
1 経常収益	6,650				
(1) 医業収益	-				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	-				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	6,650				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	-				
(うち長期前受金戻入)	-				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	6,650				
2 経常費用	6,650				
(1) 医業費用	-				
職員給与費	-	-	58.7	51.4	
材料費	-	-	26.9	32.6	
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9	
減価償却費	-	-	8.5	7.4	
経費	-	-	21.5	16.9	
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0	
研究研修費	-				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	6,650				
(うち支払利息)	6,650	-	0.9	0.8	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-			
	純損益	-			
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.0		96.5	97.6	
医業収支比率	-		86.0	91.7	
修正医業収支比率	-		83.2	89.8	
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2	
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1	
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2	
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		大阪市			
病院名		総合医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

貸借対照表（千円）				
区分			決算額	
資産合計			-	
1 固定資産			-	
(1) 有形固定資産			-	
(2) 無形固定資産			-	
(3) 投資その他の資産			-	
2 流動資産			-	
(1) 現金及び預金			-	
(2) 未収金及び未収収益			-	
(3) 貸倒引当金（ ）			-	
(4) 貯蔵品			-	
3 繰延資産			-	
負債合計			-	
1 固定負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
2 流動負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
(7) 一時借入金			-	
(8) 未払金及び未払費用			-	
(9) 前受金及び前受収益			-	
3 繰延収益			-	
(1) 長期前受金			-	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）			-	
(3) 繰延運営権対価			-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）			-	
(5) 運営権者更新投資			-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）			-	
資本合計			-	
1 資本金			-	
2 剰余金			-	
(1) 資本剰余金			-	
(2) 利益剰余金			-	
負債・資本合計			-	
不良債務			-	
実質資金不足額			-	
資本不足額（ ）			-	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）			-	
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				

設立団体の状況		
人口(人)	2,752,412	
決算規模(千円)	1,951,351,019	
標準財政規模(千円)	889,351,675	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.9
	将来負担比率(%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書（千円・％）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	87,497			
1 経常収益	87,497			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	87,497			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	87,497			
2 経常費用	87,497			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	87,497			
(うち支払利息)	87,497	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-		
	純損益	-		
累積欠損金	2,922,907			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		大阪市			
病院名		十三市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
(1) 有形固定資産		-		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		-		
(1) 現金及び預金		-		
(2) 未収金及び未収収益		-		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		-		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		-		
(1) 長期前受金		-		
(2) 長期前受金収益化累計額()		-		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	105,246			
1 経常収益	105,246			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	105,246			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	105,246			
2 経常費用	105,246			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	63.9
材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
減価償却費	-	-	8.5	9.3
経費	-	-	21.5	28.2
(うち委託料)	-	-	11.5	14.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	105,246			
(うち支払利息)	105,246	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-		
	純損益	-		
累積欠損金	4,931,834			
経常収支比率	100.0		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	80.9

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
大阪府

市町村・組合名
堺市

病院名
堺市立総合医療センター

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
D P C対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

損益計算書（千円・％）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	147,909			
2 経常費用	147,909			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	-	-	8.5	7.9
経理費	-	-	21.5	18.1
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	147,909			
(うち支払利息)	147,909	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-147,909			
純損益	-147,909			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		96.5	97.5
医業収支比率	-		86.0	90.0
修正医業収支比率	-		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	-		85.4	88.1

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄
指定病院の状況欄

ド...人間ドック 透...人工透析 I...I C U ・ C C U 未...N I C U ・ 未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

貸借対照表（千円）

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

設立団体の状況

人口（人）	826,161	
決算規模（千円）	443,302,743	
標準財政規模（千円）	235,366,559	
財政力指数	0.76	
経常収支比率（％）	100.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（％）	-
	連結実質赤字比率（％）	-
	実質公債費比率（％）	5.4
	将来負担比率（％）	-

他会計からの繰入状況（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（％）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（％）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうちの他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費（経常的経費）に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		岸和田市			
病院名		岸和田市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,575㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	400	72.7	69.1	63.4	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	400	72.7	69.1	63.4	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.3	10.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				20,465,217	
1 固定資産				14,175,697	
(1) 有形固定資産				13,955,270	
(2) 無形固定資産				1,108	
(3) 投資その他の資産				219,319	
2 流動資産				6,289,520	
(1) 現金及び預金				3,243,351	
(2) 未収金及び未収収益				2,941,637	
(3) 貸倒引当金()				1,965	
(4) 貯蔵品				106,497	
3 繰延資産				-	
負債合計				11,186,805	
1 固定負債				7,272,268	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,673,818	
(2) その他の企業債				1,175,824	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,327,558	
(6) リース債務				95,068	
2 流動負債				3,575,046	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,493,041	
(2) その他の企業債				111,984	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				383,972	
(6) リース債務				47,569	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,528,990	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				339,491	
(1) 長期前受金				664,137	
(2) 長期前受金収益化累計額()				324,646	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				9,278,412	
1 資本金				8,845,685	
2 剰余金				432,727	
(1) 資本剰余金				102,965	
(2) 利益剰余金				329,762	
負債・資本合計				20,465,217	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,382,597	1,052,633
資本勘定繰入	751,855	350,000
計	2,134,452	1,402,633

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	15,251,380				
1 経常収益	15,234,501				
(1) 医業収益	13,983,513				
(うち修正医業収益)	13,684,581				
入院収益	8,690,998				
外来収益	4,832,516				
診療収入計	13,523,514				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	459,999				
(うち他会計負担金)	298,932				
(2) 医業外収益	1,250,988				
(うち国・都道府県補助金)	271,568				
(うち他会計補助・負担金)	753,701				
(うち長期前受金戻入)	79,254				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	16,879				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	15,054,008				
2 経常費用	15,039,086				
(1) 医業費用	14,202,603				
職員給与費	6,630,387	47.4	58.7	55.7	
材料費	4,435,432	31.7	26.9	28.9	
(うち薬品費)	2,410,364	17.2	14.8	15.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,944,205	13.9	11.7	12.7	
減価償却費	858,711	6.1	8.5	7.9	
経費	2,185,538	15.6	21.5	18.1	
(うち委託料)	1,505,983	10.8	11.5	10.0	
研究研修費	51,188				
資産減耗費	41,347				
(2) 医業外費用	836,483				
(うち支払利息)	106,550	0.8	0.9	0.9	
(3) 特別損失	14,922				
損益	経常損益	195,415			
	純損益	197,372			
累積欠損金	-				
経常収支比率	101.3		96.5	97.5	
医業収支比率	98.5		86.0	90.0	
修正医業収支比率	96.4		83.2	87.2	
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		11.5	9.6	
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		13.7	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	6.9		11.5	9.7	
実質収益対経常費用比率	94.3		85.4	88.1	

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		豊中市			
病院名		市立豊中病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,544㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が感地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	599	76.9	71.1	67.7	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	14	-	-	-	
計	613	75.2	69.4	66.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.1	10.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				28,056,774	
1 固定資産				17,041,158	
(1) 有形固定資産				16,680,263	
(2) 無形固定資産				21,959	
(3) 投資その他の資産				338,936	
2 流動資産				11,015,616	
(1) 現金及び預金				7,556,694	
(2) 未収金及び未収収益				3,193,955	
(3) 貸倒引当金()				13,648	
(4) 貯蔵品				249,877	
3 繰延資産				-	
負債合計				15,879,179	
1 固定負債				7,483,956	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,873,439	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,610,517	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				4,388,328	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,705,687	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				742,256	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,833,825	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				4,006,895	
(1) 長期前受金				8,763,906	
(2) 長期前受金収益化累計額()				4,757,011	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				12,177,595	
1 資本金				11,093,374	
2 剰余金				1,084,221	
(1) 資本剰余金				1,532,606	
(2) 利益剰余金				-448,385	
負債・資本合計				28,056,774	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,451,766	1,452,481
資本勘定繰入	1,015,297	1,015,297
計	2,467,063	2,467,778

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：					
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。					

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		池田市			
病院名		市立池田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,005㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	364	75.0	76.0	77.2	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	364	75.0	76.0	77.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.2	10.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				18,359,279	
1 固定資産				12,701,429	
(1) 有形固定資産				12,680,250	
(2) 無形固定資産				21,179	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				5,657,850	
(1) 現金及び預金				3,602,185	
(2) 未収金及び未収収益				2,022,953	
(3) 貸倒引当金()				12,596	
(4) 貯蔵品				45,308	
3 繰延資産				-	
負債合計				8,684,342	
1 固定負債				5,798,074	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				4,035,093	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,699,541	
(6) リース債務				63,440	
2 流動負債				2,692,109	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				878,873	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				352,221	
(6) リース債務				23,071	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				1,368,542	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				194,159	
(1) 長期前受金				388,050	
(2) 長期前受金収益化累計額()				193,891	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				9,674,937	
1 資本金				25,298,736	
2 剰余金				-15,623,799	
(1) 資本剰余金				11,380	
(2) 利益剰余金				-15,635,179	
負債・資本合計				18,359,279	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	617,464	266,595
資本勘定繰入	733,405	733,405
計	1,350,869	1,000,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：	「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。
-----	--

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		吹田市			
病院名		吹田市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 ヘ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
(1) 有形固定資産		-		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		-		
(1) 現金及び預金		-		
(2) 未収金及び未収収益		-		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		-		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		-		
(1) 長期前受金		-		
(2) 長期前受金収益化累計額()		-		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	117,356			
1 経常収益	117,356			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	117,356			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	117,356			
2 経常費用	117,356			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	-	-	8.5	7.9
経費	-	-	21.5	18.1
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	117,356			
(うち支払利息)	117,356	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-		
	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.5
医業収支比率	-		86.0	90.0
修正医業収支比率	-		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	88.1

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		泉大津市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,313㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	230	31.8	47.1	52.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	230	31.8	47.1	52.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		8.9	10.7	10.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				16,464,823	
1 固定資産				12,015,266	
(1) 有形固定資産				11,490,866	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				524,400	
2 流動資産				4,449,557	
(1) 現金及び預金				3,894,347	
(2) 未収金及び未収収益				546,580	
(3) 貸倒引当金()				150	
(4) 貯蔵品				8,716	
3 繰延資産				-	
負債合計				14,497,522	
1 固定負債				7,703,829	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				5,976,512	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				400,000	
(5) 引当金				1,287,376	
(6) リース債務				39,941	
2 流動負債				5,642,002	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				453,072	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				187,667	
(6) リース債務				14,348	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				4,960,151	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,151,691	
(1) 長期前受金				1,352,713	
(2) 長期前受金収益化累計額()				201,022	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,967,301	
1 資本金				9,837,119	
2 剰余金				-7,869,818	
(1) 資本剰余金				190,733	
(2) 利益剰余金				-8,060,551	
負債・資本合計				16,464,823	
不良債務				739,373	
実質資金不足額				739,373	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

設立団体の状況		
人口(人)	74,412	
決算規模(千円)	39,134,586	
標準財政規模(千円)	17,880,885	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	9.5

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	746,037	830,263
資本勘定繰入	369,737	369,737
計	1,115,774	1,200,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	739,373	21.6
令和4年度	-	-
令和3年度	282,657	6.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	235.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	739,373
地財法上の資金不足比率(%)	21.6

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
大阪府

市町村・組合名

貝塚市

病院名

貝塚病院

施設及び業務概況等

法適用区分

条例全部

特殊診療機能

ド訓力

病院区分

一般病院

不採算地区病院

非該当

建物面積

21,079㎡

不採算地区中核病院

非該当

診療科数

18

指定病院の状況

救臨輪

許可公営企業

看護配置

7:1

DPC対象病院

対象

経営形態

直営

類似区分

200床以上～300床未満

損益計算書

(千円・%)

区分

決算額

費用収益
医業収

全国平均

類似平均

総収益

7,797,735

1 経常収益

7,797,735

(1) 医業収益

7,120,235

(うち修正医業収益)

6,924,535

入院収益

4,126,320

外来収益

2,624,707

診療収入計

6,751,027

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

369,208

(うち他会計負担金)

195,700

(2) 医業外収益

677,500

(うち国・都道府県補助金)

69,719

(うち他会計補助・負担金)

284,832

(うち長期前受金戻入)

265,681

(うち資本費繰入収益)

-

(3) 特別利益

-

(うち他会計繰入金)

-

総費用

8,171,054

2 経常費用

8,171,054

(1) 医業費用

7,739,996

職員給与費

4,160,461

58.4

58.7

63.9

材料費

1,913,421

26.9

26.9

21.1

(うち薬品費)

1,172,328

16.5

14.8

10.6

(うち薬品費以外の医薬材料費)

694,133

9.7

11.7

10.2

減価償却費

491,958

6.9

8.5

9.3

経費

1,140,678

16.0

21.5

28.2

(うち委託料)

722,621

10.1

11.5

14.0

研究研修費

20,112

資産減耗費

13,366

(2) 医業外費用

431,058

(うち支払利息)

52,902

0.7

0.9

1.0

(3) 特別損失

-

損益

経常損益

純損益

累積欠損金

2,001,575

経常収支比率

95.4

96.5

93.2

医業収支比率

92.0

86.0

81.2

修正医業収支比率

89.5

83.2

77.9

他会計繰入金対経常収益比率

6.2

11.5

13.2

他会計繰入金対医業収益比率

6.7

13.7

16.1

他会計繰入金対総収益比率

6.2

11.5

13.3

実質収益対経常費用比率

89.6

85.4

80.9

特殊診療機能欄

ド...人間ドック透...人工透析I...ICU・CCU未...NICU・未熟児室訓...運動機能訓練室ガ...ガン(放射線)診療

指定病院の状況欄

救...救急告示病院臨...臨床研修病院が...がん診療連携拠点病院感...感染症指定医療機関へ...へき地医療拠点病院災...災害拠点病院

地...地域医療支援病院特...特定機能病院輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

249

73.3

61.7

66.9

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

-

-

-

-

計

249

73.3

61.7

66.9

平均在院日数(一般病床のみ)

7.5

8.4

8.4

貸借対照表

(千円)

区分

決算額

資産合計

6,871,343

1 固定資産

5,154,852

(1) 有形固定資産

5,151,508

(2) 無形固定資産

3,344

(3) 投資その他の資産

-

2 流動資産

1,716,491

(1) 現金及び預金

583,241

(2) 未収金及び未収収益

1,119,905

(3) 貸倒引当金()

33,995

(4) 貯蔵品

47,076

3 繰延資産

-

負債合計

6,735,078

1 固定負債

3,892,196

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

2,554,062

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

10,000

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

1,309,014

(6) リース債務

19,120

2 流動負債

2,151,757

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

770,377

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

10,000

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

260,666

(6) リース債務

6,552

(7) 一時借入金

-

(8) 未払金及び未払費用

1,079,006

(9) 前受金及び前受収益

-

3 繰延収益

691,125

(1) 長期前受金

4,507,246

(2) 長期前受金収益化累計額()

3,816,121

(3) 繰延運営権対価

-

(4) 繰延運営権対価収益化累計額()

-

(5) 運営権者更新投資

-

(6) 運営権者更新投資収益化累計額()

-

資本合計

136,265

1 資本金

1,328,761

2 剰余金

-1,192,496

(1) 資本金剰余金

809,079

(2) 利益剰余金

-2,001,575

負債・資本合計

6,871,343

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額()

-

資本不足額(繰延収益控除後)()

-

備考

設立団体の状況

人口(人)

84,443

決算規模(千円)

36,812,112

標準財政規模(千円)

19,345,298

財政力指数

0.63

経常収支比率(%)

98.4

健全化

実質赤字比率(%)

-

判断比率

連結実質赤字比率(%)

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		枚方市			
病院名		市立ひらかた病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,587㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	327	75.6	74.2	72.3	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	8	38.1	70.3	85.8	
計	335	74.7	74.1	72.7	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.9	10.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				16,404,025	
1 固定資産				9,538,685	
(1) 有形固定資産				9,026,247	
(2) 無形固定資産				4,308	
(3) 投資その他の資産				508,130	
2 流動資産				6,865,340	
(1) 現金及び預金				5,359,458	
(2) 未収金及び未収収益				1,346,821	
(3) 貸倒引当金()				517	
(4) 貯蔵品				159,439	
3 繰延資産				-	
負債合計				12,944,058	
1 固定負債				9,610,556	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,846,320	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,764,236	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,310,151	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				914,267	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				353,703	
(6) リース債務				837	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				968,664	
(9) 前受金及び前受収益				12,440	
3 繰延収益				1,023,351	
(1) 長期前受金				3,629,280	
(2) 長期前受金収益化累計額()				2,605,929	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				3,459,967	
1 資本金				10,299	
2 剰余金				3,449,668	
(1) 資本剰余金				83,340	
(2) 利益剰余金				3,366,328	
負債・資本合計				16,404,025	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,071,676	1,072,867
資本勘定繰入	487,226	487,226
計	1,558,902	1,560,093

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
大阪府

市町村・組合名

八尾市

病院名

市立病院

施設及び業務概況等

法適用区分

条例全部

特殊診療機能

ド透Ⅰ未訓Ⅱ

病院区分

一般病院

不採算地区病院

非該当

建物面積

40,470㎡

不採算地区中核病院

非該当

診療科数

24

指定病院の状況

救ⅡがⅡ地

許可公営企業

看護配置

Ⅱ：Ⅱ

DPC対象病院

対象

経営形態

直営

類似区分

300床以上～400床未満

損益計算書

(千円・%)

区分

決算額

費用収益
医業収

全国平均

類似平均

総収益

14,159,297

Ⅱ 経常収益

14,128,136

(Ⅱ) 医業収益

12,799,329

(うち修正医業収益)

12,470,119

入院収益

8,047,149

外来収益

4,159,292

診療収入計

12,206,441

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

592,888

(うち他会計負担金)

329,210

(Ⅱ) 医業外収益

1,328,807

(うち国・都道府県補助金)

254,254

(うち他会計補助・負担金)

611,049

(うち長期前受金戻入)

387,372

(うち資本費繰入収益)

-

(Ⅲ) 特別利益

31,161

(うち他会計繰入金)

-

総費用

15,555,808

Ⅱ 経常費用

15,527,934

(Ⅱ) 医業費用

14,625,286

職員給与費

7,206,089

56.3

58.7

59.2

材料費

3,644,907

28.5

26.9

26.1

(うち薬品費)

2,244,766

17.5

14.8

14.6

(うち薬品費以外の医薬材料費)

1,400,141

10.9

11.7

11.1

減価償却費

926,727

7.2

8.5

8.5

経費

2,795,439

21.8

21.5

21.3

(うち委託料)

2,301,990

18.0

11.5

11.7

研究研修費

36,956

資産減耗費

15,168

(Ⅱ) 医業外費用

902,648

(うち支払利息)

150,636

1.2

0.9

1.0

(Ⅲ) 特別損失

27,874

損益

経常損益

純損益

-1,399,798

-1,396,511

累積欠損金

-

経常収支比率

91.0

96.5

95.9

医業収支比率

87.5

86.0

86.4

修正医業収支比率

85.3

83.2

83.7

他会計繰入金対経常収益比率

6.7

11.5

9.8

他会計繰入金対医業収益比率

7.3

13.7

11.5

他会計繰入金対総収益比率

6.6

11.5

9.8

実質収益対経常費用比率

84.9

85.4

86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄

ド…人間ドック透…人工透析Ⅱ…ⅡCⅡ・CⅡⅡ未…ⅡⅡCⅡ・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療

指定病院の状況欄

救…救急告示病院Ⅱ…Ⅱ臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院

地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数

(%)・日)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

380

71.3

70.2

69.5

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

-

-

-

-

感染症

-

-

-

-

計

380

71.3

70.2

69.5

平均在院日数（一般病床のみ）

8.4

8.8

8.7

貸借対照表

(千円)

区分

決算額

資産合計

22,240,105

Ⅱ 固定資産

13,539,684

(Ⅱ) 有形固定資産

13,537,633

(Ⅱ) 無形固定資産

142

(Ⅲ) 投資その他の資産

1,909

Ⅱ 流動資産

8,700,421

(Ⅱ) 現金及び預金

6,496,359

(Ⅱ) 未収金及び未収収益

2,119,604

(Ⅲ) 貸倒引当金(Ⅱ)

5,614

(Ⅳ) 貯蔵品

80,742

Ⅲ 繰延資産

-

負債合計

17,975,791

Ⅱ 固定負債

11,478,163

(Ⅱ) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

8,753,591

(Ⅱ) その他の企業債

-

(Ⅲ) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(Ⅳ) その他の長期借入金

-

(Ⅴ) 引当金

2,617,969

(Ⅵ) リース債務

-

Ⅱ 流動負債

4,195,490

(Ⅱ) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

1,296,379

(Ⅱ) その他の企業債

-

(Ⅲ) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(Ⅳ) その他の長期借入金

-

(Ⅴ) 引当金

675,529

(Ⅵ) リース債務

-

(Ⅶ) 一時借入金

-

(Ⅷ) 未払金及び未払費用

2,181,560

(Ⅸ) 前受金及び前受収益

-

Ⅲ 繰延収益

2,302,138

(Ⅱ) 長期前受金

7,411,545

(Ⅱ) 長期前受金収益化累計額(Ⅱ)

5,109,407

(Ⅲ) 繰延運営権対価

-

(Ⅳ) 繰延運営権対価収益化累計額(Ⅱ)

-

(Ⅴ) 運営権者更新投資

-

(Ⅵ) 運営権者更新投資収益化累計額(Ⅱ)

-

資本合計

4,264,314

Ⅱ 資本金

2,797,285

Ⅱ 剰余金

1,467,029

(Ⅱ) 資本剰余金

18,025

(Ⅱ) 利益剰余金

1,449,004

負債・資本合計

22,240,105

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額(Ⅱ)

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		泉佐野市			
病院名		泉佐野病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院				

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				-	
1 固定資産				-	
(1) 有形固定資産				-	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				-	
(1) 現金及び預金				-	
(2) 未収金及び未収収益				-	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				-	
1 固定負債				-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				-	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				-	
(1) 長期前受金				-	
(2) 長期前受金収益化累計額()				-	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-	
1 資本金				-	
2 剰余金				-	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-	
負債・資本合計				-	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	104,102				
1 経常収益	104,102				
(1) 医業収益	-				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	-				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	104,102				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	-				
(うち長期前受金戻入)	-				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	104,102				
2 経常費用	104,102				
(1) 医業費用	-				
職員給与費	-	-	58.7	59.2	
材料費	-	-	26.9	26.1	
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1	
減価償却費	-	-	8.5	8.5	
経費	-	-	21.5	21.3	
(うち委託料)	-	-	11.5	11.7	
研究研修費	-				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	104,102				
(うち支払利息)	104,102	-	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-			
	純損益	-			
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.0		96.5	95.9	
医業収支比率	-		86.0	86.4	
修正医業収支比率	-		83.2	83.7	
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.5	
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	9.8	
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	86.4	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		和泉市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,444㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が地輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄		ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄		救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
		地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	307	95.1	93.1	92.8	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	307	95.1	93.1	92.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	11.5	11.7	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				11,175,275	
1 固定資産				11,084,557	
(1) 有形固定資産				11,082,612	
(2) 無形固定資産				1,945	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				90,718	
(1) 現金及び預金				30,632	
(2) 未収金及び未収収益				60,086	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				13,119,732	
1 固定負債				11,799,893	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				11,353,068	
(2) その他の企業債				446,825	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				1,011,251	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				832,421	
(2) その他の企業債				88,112	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				88,060	
(9) 前受金及び前受収益				658	
3 繰延収益				308,588	
(1) 長期前受金				2,015,935	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,707,347	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-1,944,457	
1 資本金				10,089,958	
2 剰余金				-12,034,415	
(1) 資本剰余金				2,224,478	
(2) 利益剰余金				-14,258,893	
負債・資本合計				11,175,275	
不良債務				88,112	
実質資金不足額				88,112	
資本不足額()				1,944,457	
資本不足額(繰延収益控除後)()				1,635,869	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,001	260,088
資本勘定繰入	449,472	563,127
計	704,473	823,215

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	88,112	41.1
令和4年度	88,113	40.5
令和3年度	51,525	23.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6644.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	534,937
地財法上の資金不足比率(%)	249.2

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	778,405				
1 経常収益	778,405				
(1) 医業収益	214,590				
(うち修正医業収益)	27,785				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	214,590				
(うち他会計負担金)	186,805				
(2) 医業外収益	563,815				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	73,283				
(うち長期前受金戻入)	404,248				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,179,948				
2 経常費用	1,179,948				
(1) 医業費用	1,091,287				
職員給与費	-	-	58.7	59.2	
材料費	-	-	26.9	26.1	
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	11.1	
減価償却費	840,174	391.5	8.5	8.5	
経費	250,774	116.9	21.5	21.3	
(うち委託料)	28,281	13.2	11.5	11.7	
研究研修費	-				
資産減耗費	339				
(2) 医業外費用	88,661				
(うち支払利息)	72,430	33.8	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-401,543			
	純損益	-401,543			
累積欠損金	14,258,893				
経常収支比率	66.0		96.5	95.9	
医業収支比率	19.7		86.0	86.4	
修正医業収支比率	2.5		83.2	83.7	
他会計繰入金対経常収益比率	33.4		11.5	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	121.2		13.7	11.5	
他会計繰入金対総収益比率	33.4		11.5	9.8	
実質収益対経常費用比率	43.9		85.4	86.4	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		箕面市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Ⅰ 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救 臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
D P C 対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区 分	病 床 数	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度
一 般	317	66.8	69.3	75.3
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	317	66.8	69.3	75.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.2	10.6

貸借対照表（千円）				
区 分		決 算 額		
資 産 合 計		12,591,051		
1 固 定 資 産		9,023,063		
(1) 有 形 固 定 資 産		9,000,222		
(2) 無 形 固 定 資 産		1,186		
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産		21,655		
2 流 動 資 産		3,567,988		
(1) 現 金 及 び 預 金		2,135,661		
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益		1,340,533		
(3) 貸 倒 引 当 金 ()		3,363		
(4) 貯 蔵 品		95,157		
3 繰 延 資 産		-		
負 債 合 計		6,896,113		
1 固 定 負 債		4,437,442		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		862,866		
(2) そ の 他 の 企 業 債		344,571		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金		1,300,000		
(5) 引 当 金		1,576,917		
(6) リ ー ス 債 務		353,088		
2 流 動 負 債		1,774,865		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		238,108		
(2) そ の 他 の 企 業 債		57,429		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金		-		
(5) 引 当 金		377,630		
(6) リ ー ス 債 務		44,372		
(7) 一 時 借 入 金		-		
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用		1,011,339		
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益		-		
3 繰 延 収 益		683,806		
(1) 長 期 前 受 金		1,253,754		
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()		569,948		
(3) 繰 延 運 営 権 対 価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額 ()		-		
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額 ()		-		
資 本 合 計		5,694,938		
1 資 本 金		16,162,929		
2 剰 余 金		-10,467,991		
(1) 資 本 剰 余 金		1,406,466		
(2) 利 益 剰 余 金		-11,874,457		
負 債 ・ 資 本 合 計		12,591,051		
不 良 債 務		-		
実 質 資 金 不 足 額		-		
資 本 不 足 額 ()		-		
資本不足額（繰延収益控除後） ()		-		
備 考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	401,577	421,204
資 本 勘 定 繰 入	308,154	1,000
計	709,731	422,204

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	145.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損 益 計 算 書（千円・％）				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	8,817,823			
1 経 常 収 益	8,817,823			
(1) 医 業 収 益	8,171,469			
(うち修正医業収益)	8,043,741			
入 院 収 益	5,242,799			
外 来 収 益	2,619,729			
診 療 収 入 計	7,862,528			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
そ の 他 医 業 収 益	308,941			
(うち他会計負担金)	127,728			
(2) 医 業 外 収 益	646,354			
(うち国・都道府県補助金)	206,225			
(うち他会計補助・負担金)	293,476			
(うち長期前受金戻入)	64,820			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	10,102,543			
2 経 常 費 用	10,094,421			
(1) 医 業 費 用	9,707,588			
職 員 給 与 費	5,596,622	68.5	58.7	59.2
材 料 費	2,007,958	24.6	26.9	26.1
(うち薬品費)	1,127,069	13.8	14.8	14.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	831,784	10.2	11.7	11.1
減 価 償 却 費	552,908	6.8	8.5	8.5
経 費	1,511,473	18.5	21.5	21.3
(うち委託料)	821,135	10.0	11.5	11.7
研 究 研 修 費	33,881			
資 産 減 耗 費	4,746			
(2) 医 業 外 費 用	386,833			
(うち支払利息)	5,382	0.1	0.9	1.0
(3) 特 別 損 失	8,122			
損 益	経 常 損 益	-1,276,598		
	純 損 益	-1,284,720		
累 積 欠 損 金	11,879,457			
経 常 収 支 比 率	87.4		96.5	95.9
医 業 収 支 比 率	84.2		86.0	86.4
修 正 医 業 収 支 比 率	82.9		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	4.8		11.5	9.8
実 質 収 益 対 経 常 費 用 比 率	83.2		85.4	86.4

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		柏原市			
病院名		市立柏原病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
D P C対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	220	60.2	50.4	55.0	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	220	60.2	50.4	55.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.0	12.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				8,372,422	
1 固定資産				4,945,967	
(1) 有形固定資産				4,843,703	
(2) 無形固定資産				50,976	
(3) 投資その他の資産				51,288	
2 流動資産				3,426,455	
(1) 現金及び預金				2,760,672	
(2) 未収金及び未収収益				662,332	
(3) 貸倒引当金()				13,371	
(4) 貯蔵品				16,792	
3 繰延資産				-	
負債合計				6,010,811	
1 固定負債				3,758,200	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,713,202	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				1,042,967	
(6) リース債務				2,031	
2 流動負債				1,126,363	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				456,542	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				155,496	
(6) リース債務				717	
(7) 一時借入金				200,000	
(8) 未払金及び未払費用				294,736	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,126,248	
(1) 長期前受金				6,884,263	
(2) 長期前受金収益化累計額()				5,758,015	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,361,611	
1 資本金				1,207,261	
2 剰余金				1,154,350	
(1) 資本剰余金				131,948	
(2) 利益剰余金				1,022,402	
負債・資本合計				8,372,422	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	289,680	290,268
資本勘定繰入	258,463	280,435
計	548,143	570,703

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	4,580,385				
1 経常収益	4,580,385				
(1) 医業収益	3,985,184				
(うち修正医業収益)	3,891,767				
入院収益	2,527,690				
外来収益	1,149,214				
診療収入計	3,676,904				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	308,280				
(うち他会計負担金)	93,417				
(2) 医業外収益	595,201				
(うち国・都道府県補助金)	131,980				
(うち他会計補助・負担金)	196,851				
(うち長期前受金戻入)	154,073				
(うち資本費繰入収益)	81,167				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	5,241,483				
2 経常費用	5,241,483				
(1) 医業費用	4,969,536				
職員給与費	2,865,058	71.9	58.7	63.9	
材料費	830,918	20.9	26.9	21.1	
(うち薬品費)	495,395	12.4	14.8	10.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	302,165	7.6	11.7	10.2	
減価償却費	366,681	9.2	8.5	9.3	
経費	896,769	22.5	21.5	28.2	
(うち委託料)	603,876	15.2	11.5	14.0	
研究研修費	5,377				
資産減耗費	4,733				
(2) 医業外費用	271,947				
(うち支払利息)	56,637	1.4	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-661,098			
	純損益	-661,098			
累積欠損金	377,598				
経常収支比率	87.4		96.5	93.2	
医業収支比率	80.2		86.0	81.2	
修正医業収支比率	78.3		83.2	77.9	
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.5	13.2	
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		13.7	16.1	
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.5	13.3	
実質収益対経常費用比率	81.8		85.4	80.9	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		藤井寺市			
病院名		市立藤井寺市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,423㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	98	13.1	36.6	45.6	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	98	13.1	36.6	45.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	10.6	9.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				985,577	
1 固定資産				423,112	
(1) 有形固定資産				422,978	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				134	
2 流動資産				562,465	
(1) 現金及び預金				457,248	
(2) 未収金及び未収収益				107,437	
(3) 貸倒引当金()				2,220	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,308,246	
1 固定負債				868,236	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				574,584	
(2) その他の企業債				164,470	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				129,182	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				402,234	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				402,234	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				37,776	
(1) 長期前受金				114,405	
(2) 長期前受金収益化累計額()				76,629	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-322,669	
1 資本金				2,877,230	
2 剰余金				-3,199,899	
(1) 資本剰余金				61,728	
(2) 利益剰余金				-3,261,627	
負債・資本合計				985,577	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				322,669	
資本不足額(繰延収益控除後)()				284,893	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	97,407	97,407
資本勘定繰入	44,478	63,398
計	141,885	160,805

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	405.9
健全化法上の資金不足額(千円)	4,239
健全化法上の資金不足比率(%)	0.5
地財法上の資金不足額(千円)	4,239
地財法上の資金不足比率(%)	0.5

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		東大阪市			
病院名		総合病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		-		
1 固定資産		-		
(1) 有形固定資産		-		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		-		
(1) 現金及び預金		-		
(2) 未収金及び未収収益		-		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		-		
1 固定負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		-		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		-		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		-		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		-		
(1) 長期前受金		-		
(2) 長期前受金収益化累計額()		-		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-		
1 資本金		-		
2 剰余金		-		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-		
負債・資本合計		-		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

設立団体の状況		
人口(人)	493,940	
決算規模(千円)	225,410,604	
標準財政規模(千円)	115,136,485	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(％)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	5.9
	将来負担比率(％)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	96,867			
1 経常収益	96,867			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	96,867			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	96,867			
2 経常費用	96,867			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	58.7	51.4
材料費	-	-	26.9	32.6
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	13.9
減価償却費	-	-	8.5	7.4
経費	-	-	21.5	16.9
(うち委託料)	-	-	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	96,867			
(うち支払利息)	96,867	-	0.9	0.8
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-		
	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	97.6
医業収支比率	-		86.0	91.7
修正医業収支比率	-		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	100.0		85.4	90.5

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		阪南市			
病院名		阪南市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,965㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	185	86.4	77.6	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	86.4	77.6	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.1	12.4

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		2,289,232		
1 固定資産		2,116,648		
(1) 有形固定資産		2,114,915		
(2) 無形固定資産		1,733		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		172,584		
(1) 現金及び預金		171,401		
(2) 未収金及び未収収益		1,183		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		2,207,368		
1 固定負債		2,029,415		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		2,029,415		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		100,244		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		97,433		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		2,811		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		77,709		
(1) 長期前受金		322,679		
(2) 長期前受金収益化累計額()		244,970		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		81,864		
1 資本金		57,996		
2 剰余金		23,868		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		23,868		
負債・資本合計		2,289,232		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	51,852	237,068
資本勘定繰入	47,996	47,996
計	99,848	285,064

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	324,526			
1 経常収益	318,321			
(1) 医業収益	10,010			
(うち修正医業収益)	10,010			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	10,010			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	308,311			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	237,068			
(うち長期前受金戻入)	4,116			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	343,311			
2 経常費用	343,311			
(1) 医業費用	308,170			
職員給与費	-	-	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	68,028	679.6	8.5	10.3
経費	234,701	2344.7	21.5	29.4
(うち委託料)	10,353	103.4	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	5,441			
(2) 医業外費用	35,141			
(うち支払利息)	32,856	328.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-24,990		
	純損益	-18,785		
累積欠損金		-		
経常収支比率		92.7	96.5	95.4
医業収支比率		3.2	86.0	79.1
修正医業収支比率		3.2	83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率		74.5	11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率		2368.3	13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率		73.1	11.5	17.1
実質収益対経常費用比率		23.7	85.4	79.2

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。